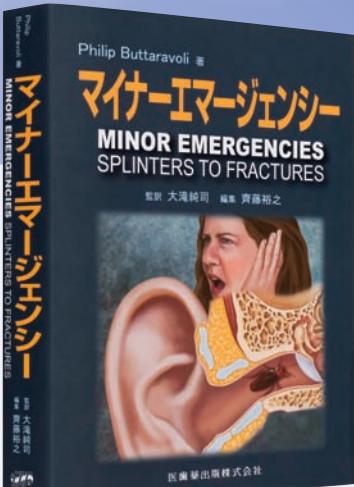


# 米国No.1“マイナー急患全集”日本語版 マイナーエマージェンシー



■ 原著 「Minor Emergencies Splinters to Fractures」  
■ 原著者 Philip Buttaravoli  
■ 監訳 大滝 純司 (東京医科大学 教授 総合診療科／医学教育学講座)  
■ 編集 齊藤 裕之 (同善会クリニック 副院長)

定価 14,700円(本体14,000円 税5%)  
B5判・764頁・オールカラー ISBN978-4-263-73122-2

## MINOR EMERGENCIES

日本でもすでに好評の原著、ついに邦訳  
三大救急疾患以外の急患症例を網羅!!

事例 140

Pencil Point Puncture

**鉛筆の芯による刺創**

**臨床像**

患者は尖った鉛筆の芯が皮膚に刺さったと訴える。鉛中毒を明らかにまたは無意識に心配している患者もいる。受傷部には内側が黒鉛の刺創で覆われた小さな創が認められる(図140-1)。鉛筆の芯は、創内に残存して外部から覗認できる場合もあれば、触のみが可能な場合や、残存していない場合もある。創部の触時に皮下の時に皮下の芯により異物感が生じることもある。

**すべきこと**

患者やその保護者に、鉛中毒の危険性はないことを説明して安心させる。鉛筆は粘土と黒鉛からつくられているため、実際には炭素であり、毒性はない。

**患者やその保護者へ** “鉛”は粘土でできていることのほうが圧倒的に多く、多くは黒鉛の黒い粒子が埋まっているだけである。

創部をこすり洗いで汚れを落とす。

**すべきこと**

これを説明する場合は、合はは傷風予防を行う(補足事項Eを参照)。

さらために、創部に麻酔(エビネフリン添加の1%リドカイン)を先端部で皮膚をこすり取る(削皮する)(図140-2)。

感染の微候について注意するよう話し、黒色の刺青が永久に、整容上容認できない跡が残った場合も後から除去が可能である(図140-3)。

**してはいけないこと**

**初診時に創部全体を切り落とす**

予防的抗生物質を創部全体を切除してはならない。

予防的抗生物質を処方してはならない。不必要である。

**参考**

創部全体を切除するのは、術後の瘢痕が刺青よりも醜形を呈することが多いため、原則ではない。鉛筆の芯が表層部に異物として埋入している場合は、事例144に簡単な除去法が紹介されているので、これを参照すること。しかしこうした創傷では、ほとんどの場合、異物の残存はなく、ただ存在するように見えるだけである。したがって医師としては、刺青の予防を第一に考えるべきである。

まれではあるが、深い刺創や異物の残存のために手術室で試験切開を行わなければならない場合もある。

**疾患や対処法に関するエビデンスを中心に解説**

586

583-01318

587

●弊社の全出版物の情報はホームページでご覧いただけます。  
<http://www.ishiyaku.co.jp/>



医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10  
電話 03-5395-7610 FAX 03-5395-7611

●ご用命はぜひ当店へ

医歯薬出版図書 ◎取扱店

**対応に困る“専門外”を助ける!!**

**マイナーエマージェンシー** Minor Emergencies 即時生命危機には至らないが、救急対応が必要な急患のことを指す。三大救急疾患、つまり「心筋梗塞」「脳卒中」「急性腹症」以外の急患である。即時に生じた命を脅かさないが、放っておくと命に関わる症状も含み、安易に放置しておくことは危険な、いわゆる「軽症疾患」である——が、専門外の症状においては、処置・治療などの対応に困惑する可能性もある。「異物を誤飲した」「指輪が外れない」「朝起きたら、腕が動かなくなっていた」「ファスナーに皮膚をはさんだ」「めまいが止まらない」「日焼けしすぎてしまった」など。

# MINOR EMERGENCIES

## CONTENTS

# 第1部 神経・精神科領域の急患例

薬物誘発性ジストニア／熱中症(熱浮腫・熱失神・熱痙攣・熱疲労)／過換気／ヒステリー性の昏睡・偽てんかん発作／特発性顔面神経麻痺(ヘルニア)／片頭痛／てんかん発作(痙攣・ひきつけ)－成人／痙攣発作(痙攣・ひきつけ)－熱性および小兒／緊張型(筋収縮性)頭痛／軽微・軽度の頭部外傷(脳震盪)／血管迷走神経性失神・神経心臓性失神・神経調節性失神(気絶・卒倒)／めまい(めまい感・頭部ふらふら感)／脱力・衰弱

## 第2部 眼科領域の急患例

結膜炎(赤目) / コンタクトレンズ合併症 / 角膜上皮剥離 / 異物—結膜  
/ 異物—角膜 / 麦粒腫(ものもらい) / 虹彩炎(急性前部ぶどう膜炎)  
/ 眼窩周囲の浮腫・結膜の浮腫 / 眼窩周囲の斑状出血(眼瞼皮下出血)  
/ 位置がずれたコンタクトレンズの取り外し / 結膜下出血 / 紫外線角結膜炎(溶接工の熱傷・日焼け用ベッドにおける熱傷)

### 第3部 耳鼻咽喉科領域の急患例

耳垢塞栓(耳垢の詰まり)／鼻出血(鼻血)／異物—耳／異物—鼻／異物—咽頭／喉頭気管気管支炎(クループ)／単核球症(伝染性単核球症)／鼻骨骨折／外耳炎(スイマーズイヤー)—急性／中耳炎—急性／漿液性(滲出性)中耳炎(膠耳)／鼓膜穿孔(鼓膜破裂)／咽頭炎(咽頭痛)／鼻炎—急性(鼻水)／鼻副鼻腔炎(副鼻腔炎)

## 第4部 口腔科領域の急患例

アフタ性潰瘍(口腔潰瘍)／口腔内灼熱症候群・舌灼熱感(舌痛症)／口腔・口唇の裂傷／粘液囊胞(粘液瘤)／口腔カンジダ症(鶯口瘡・酵母感染症)／口腔単純ヘルペス(口腔ヘルペス・熱のはな)／歯列矯正に伴う合併症／口角炎／唾石症(唾液腺管結石)／顎関節症(TMD)(顎関節症候群)／顎関節脱臼／口蓋垂浮腫—急性

## 第5部 肺・胸部領域の急患例

気管支炎(気管支炎型の感冒)／急性／肋軟骨炎・筋骨格系胸痛／吸入性障害(気道熱傷)／刺激性のある無能力化剤への曝露(催涙薬・暴動鎮圧剤・催涙ガス)／肋骨骨折・肋軟骨損傷(あばら骨の骨折)

## 第6部 消化管領域の急患例

裂肛 / 便秘・過敏性腸症候群・疝痛(胃痙攣) / 下痢(急性胃腸炎) / 蟻虫症(蟻虫・線虫) / 食塊による食道閉塞 / 異物一直腸 / 異物・誤飲 / 痔核(痔) / 無害な誤飲 / しゃっくり(吃逆) / 嘔吐(食中毒・胃腸炎)

## 第7部 泌尿器科領域の急患例

事例 陰嚢の鈍的外傷／着色尿／精巣上体炎／性器ヘルペス／包茎・嵌頓包茎／急性細菌性前立腺炎／尿道炎(淋病・淋疾)／急性尿閉／単純性下部尿路感染症(膀胱炎)／上部尿路感染症(腎盂腎炎)

## 第8部 婦人科領域の急患例

バルトリン腺膿瘍／尖圭コンジローマ(性器疣贅)／接触性外陰腔炎／月経困難症(月経痛)／腔内異物／“モニングアフター”緊急避妊薬／骨盤内炎症性疾患(PID)／腔出血／腔炎

## 第9部 筋・骨格系領域の急患例

肩鎖関節(肩関節)離開／足関節捻挫(足首の捻挫)／輪状韌帯の転位  
—橈骨頭の亜脱臼(肘内障)／指のボタン穴変形／第5中手骨骨折(ボクサー骨折)／滑液包炎／手根管症候群／頸部捻挫(むち打ち損傷)  
／橈骨神経浅枝の絞扼障害(手錠神経障害)／鎖骨骨折／尾骨骨折／  
ドゥケルバイン腱傍組織炎(母指腱滑膜炎)／伸筋腱剥離—末節骨(野球指・  
槌指)／手指の脱臼(PIP関節)／手指の捻挫(PIP関節)／指尖部  
(Tuft)骨折／深指屈筋腱剥離—末節骨(スプレーフィンガー)／ガングリオン囊胞／痛風性関節炎—急性／膝関節捻挫／外側上顆炎・内側上  
顆炎(テニス肘・ゴルフ肘)／靭帯捻挫(関節包の損傷を含む)／膝のロッキング／腰椎捻挫—急性(“機械的”腰痛・仙痛関節機能障害)／单  
関節炎—急性／痙攣(こむら返り)／筋挫傷・筋断裂／筋筋膜痛症候群  
—線維筋痛症(トリガーポイント)／膝蓋骨の脱臼／足底筋膜炎(“踵骨  
棘”)／“足底腱”断裂—腓腹筋断裂(ふくらはぎの筋肉の断裂)／リウマチ性多発筋痛症／橈骨頭骨折／橈骨神経麻痺(土曜の夜麻痺)／舟状  
骨骨折／肩関節脱臼／腱障害:腱症・腱傍組織炎／足趾骨折(ブローク  
ント)／斜颈／母指の尺側副靭帯断裂

## 第10部 軟部組織領域の急患例

スポート損傷／挫傷(打撲傷)／手指または足趾の爪剥離／指尖部の浅い皮膚・軟部組織欠損創／釣り針の除去／爪下異物／異物のある刺傷—軽傷／哺乳類による咬傷／爪床裂傷／爪根の位置異常／足底の伏針(異物)／爪団炎／鉛筆の芯による刺創／刺創／指輪の除去／とげ表層部(細長い異物)／皮下異物(金属片・歯の破片・ガラス片・砂利・硬いプラスチック片)／爪下出血斑(テニス趾)／爪下血腫／耳垂の裂創・耳垂裂／外傷性刺青・擦過傷／ファスナーの食い込み事故(陰茎・顎)

## 第11部 皮膚科領域の急患例

アレルギー性接触皮膚炎／節足動物による刺咬(虫刺され・虫刺症)／皮膚の膿瘍・膿胞／皮膚幼虫移行症(皮膚爬行症)／おむつ皮膚炎(おむつかぶれ)／丹毒・蜂巣炎・リンパ管炎／ファイアーアントによる刺傷／摩擦による水疱(靴まめ)／軽度凍傷・凍傷・軽度低体温症／帯状疱疹(帯状ヘルペス)／ハチ(ミツバチ・スズメバチ・アシナガバチ)刺症(ハチ刺傷)／膿痂疹／Ⅱ度(部分層)熱傷・タール熱傷／シラミ症(シラミ・ケジラミ)／バラ色粋糠疹／化膿性肉芽腫(毛細血管拡張性肉芽腫)(増殖性肉芽)／疥癬(ヒトビゼンダニ)／日焼け／足白癬・股部白癬・体部白癬(水虫・いんきんたむし・ぜにたむし)／ウルシ類によるアレルギー性接触皮膚炎(ツタウルシ・アメリカツタウルシ・ドクウルシ)／蕁麻疹—急性／疣贅(尋常性疣贅・足底疣贅)